

高退協ニュース

高知高退協
事務局
2000・3・14
No.103

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸の内二丁目一の二
TEL 088-811-6822
FAX 088-811-6822
振替口座 徳島 511-1893

「2・1建国記念の日に 反対する県民のつどい」

2月11日、午前中、自由民権会館で約百三十名の参加を得て、標記の会が開催されました。

高退協からは一五名が出席。会員の山原代議士と、梅原憲作先生が基調報告を行いました。

憲法改悪をはじめ教育基本法への攻撃など政治反動の高まりの中で、いよいよ平和・民主勢力の活動強化の大切さが強調されました。岡崎会長が閉会のあいさつに立ち、平和を愛する多くの県民と力を合わせて頑張ろうと訴えました。

「自衛隊誘致を許さない 県民の会」結成さる

二月二十日、午前10時から11時40分まで高知城ホール4階大ホールに約60名が参加して、「自衛隊誘致を許さない県民の会」の結成総会がもたれました。

安芸市、土佐山田町、土佐市等で、陸上自衛隊の大規模な誘致運動が起きていることを受けての「許さない会」の結成です。

会では、日本原基地を持つ岡山県勝田郡での実情について、同地の平和委員会事務局長森藤町議が、問題点をつぶさに報告。つづいて代表幹事七名を選出、今後の活動方針を万場の拍手で承認し閉会しました。高退協からは岡崎会長他数名が参加しました。

今春の 退職予定者

高教組組合員の退職予定者は次の通りです。

山田 大崎定洋	教諭
山田定 竹本雅彦	教諭
高農 山脇康稔	教諭
高農 岩原 貢	教諭

東工 江村 郁	教諭
東工 橋詰育子	教諭
高工定 小南義博	教諭
高工定 田村勉夫	教諭
西 三谷隆彦	教諭
市商 森田由美	教諭
佐川 大妻紀俱	主監
須工 豊永裕代	教諭
窪川 上田初男	教諭
大方 竹村伸子	主任
中村 小野晴久	教諭
小筑紫 田所昌澄	教諭

高退協定期総会と退職者を励ます会 ご案内

恒例の上記の催しを次の通り行いますので、ぜひご参加くださいますようお願い致します。

とき 5月 6日(土)
ところ 高知城ホール

2時30分から 定期総会(3階県教組会議室)
5時から 退職者を励ます会(4階)
会費 5,000円

なお「励ます会」に参加される方は、準備の都合上、5月1日(月)までに下記までご連絡ください。

古味忠男	088(873)7123
和田 明	088(843)2713
中川正路	088(822)6778
高教組	088(822)6822

「お願い」 会費未納の方へ

会費の納入がいろいろの事情で遅れている会員の皆さん、年度末がやってきました。恐縮ですが、同封の「払込取扱票」ですぐご送金ください。

来年度の 高教組執行委員

執行委員長・井垣政利(高工定)
書記長(専従)谷内康浩(東)
教文(専従)熊沢美郎(高知西)
情宣・下田俊子(高知北[昼])
青年・吉岡太史(室戸定)
女性・林博子(高知東)
賃金・法制・原 仁(丸の内)
事務職・山下健一(高知西)
障害児・橋詰信江(希望)
共闘・井上圭介(伊野商)
支部担当
安芸・笠原静香(中芸)
香長・結城条(希望)[新]
高知市・渡辺忠直(子鹿)
高吾・坂下伸文(日高)
高岡・西内裕詞(窪川)
幡多・酒井岸雄(宿毛)[新]
書記・共済担当
胡摩崎ゆう子(書記局)

草声老詔

「自殺してでもカネつくれ」と脅迫的な取り立てをした商工ローンの元社員二名が逮捕された。昨秋以来、逮捕者は四名となつた。

商工ローンの金利は、手数料なども加えると実質的には年四〇%近くになるともいわれている。利息制限法では上限が一五・二〇%で、全くの暴利である。大手銀行を中心とする貸し渋りのなかにあつて、零細企業・中小企業が被害者となっている。

これら「日栄」など商工ローン会社は、大手銀行からの巨額融資によって成り立っている。国民の税金を大量に注入された大手銀行から流れた資金が、商工ローンとして高利で貸し付けられ、いま社会問題を引き起こしている。大手銀行の社会的責任が大きく問われている。

大手銀行といえ、東京都の「外形標準課税」が大論議になっている。都内にある資金量五兆円以上の大手銀行三〇行を対象に今年四月より五年間の時限措置で実施しようというものが、ゼロ金利政策によって、大手銀行は巨額のもうけをあげているにもかかわらず、不良債権処理によって、法人課税の納税額はあまりにも低く、八五年度を基準にして九八年度分まで、全法人の事業税収額に比べて大手銀行の負担額はその四分の一だといふ。本業のもうけである預金と貸し付けの利益や収入に対して課税しようというもので、この新税についてのみえれば、他の業種並みの税負担を求め、優遇税制を正そうとするものではないだろうか。

大手銀行と自民党の癒着構造にもメスを入れ、大企業中心から経済的弱者をまもる政策に転換させることが、いま強く求められている。

(M・N)

訃報

木村信夫先生が2月3日三橋俊男先生が2月8日、長期療養の後惜しくも逝去されました。謹んでご冥福をお祈りします。

『老・眼・鏡』



「寅彦と虎彦」

窪田一郎

高退協会員、榊原忠彦氏の労作、本年度の寺田寅彦賞の受賞作です。二人のトラヒコへの氏の思い入れ、ひしひしと伝わってきます。「私の胸中に伏在して過ぎたこうした点（寅彦と虎彦の堅い紐帯）から湧く興味と関心が、関連する文章となり、今回の書名に用いる結果となった。敬愛する両先人に対する私なりの視角から綴った追慕録の意味もこめていゝ。」と述べておられます。

三部構成で、一、二部は長編、三部は短文の収録です。「憂愁と望郷」が副題的に取り扱われていますが、私は望郷に力点を感じました。

一部の三章、「忍草五の創作性」という論考。寅彦五高在学中の美文調作品で、死後発見され全集に収められた忍草、姉の嫁ぎ先隣の年上の少女との淡い恋が語られています。

榊原氏は何人かの研究者が、これを事実として寅彦の人格やその寂しさに迫ろうとしている事を紹介。「（事実）と考えている発想には、疑問を感じていた。しかし評説の文勢に圧倒さ

れたり、（中略）そのままになっていたが、（中略）あらためて考えてみなければならぬ」と述べつつ、的確に創作だとの論証をされています。

寅彦の姉さんの嫁ぎ先は私の家のすぐ近く、隣は、私の伯母の家です。この伯母と私の母はこの恋は虚構（伯母の言葉を借りると「ありや、嘘ぞね」と言っていました。私も寅彦の女性への接し方から推察しても、また近所にそうした人は居なかつたし家もなかつたと言ふことを聞いていたので手なぐさみ程度にあって、美文を綴ったのであろう、だからこそそのままにしてあったのだと考えていました。榊原氏のこの論考で、我が意を得、胸のつかえがとれた思ひです。

五百ページ近く、自称「エッセー風の研究」で、一気に読めるといふ本ではありませんが、トラヒコファンでなくとも折りにふれてひもどくに好適、どこからでも読み始められます。

おこがましくも筆をとり、まさに慍懣たる思ひです。寅彦への私の思い榊原氏に整理していただいた気がしています。他に、ふれたいこと、特に、「龍舌蘭」など朝倉関係、あつたのですが、スペース許しません。尚、思い熱き虎彦の部分、筆至らず、お許しください。

短歌

榊原忠彦

いにしへは川底なりしとふ岩群に

立ちて覗けり鮎あそぶ映

（吉野宮滝）

沙羅双樹白きがこぼるる樹の間道

蝉しぐれの奥に御霊しづもる

（唐招提寺）

時雨する夜の館のセレナーデ

「秋の歌」のエッセーも読まれ更けゆく

（「寺田寅彦と音楽の夕べ」で）

旧城の桜花のあはひにはるけしや

寅彦墓所の老桜も見ゆ

「闇市」の名残は須臾にこはされて
標は打たれぬ「戦後」また消ゆ



寒東寺残日録

坪井 幹之

続・補聴器物語

かつて「私の健康法」の欄に「補聴器物語」を載せたことがあるが、その後の経緯を書く。老人性難聴の方、或るいはその予備軍の方の参考になれば幸いである。

私が購入した外国製の補聴器は今のところあまり機能していない。音は聞こえるが、肝心の言葉が聞きとれない。購入した店に出掛けて調整してもらったが、明瞭に聞き取れることはなかなか難しいとの説明であった。

今の私の耳では、高音部がキャッチできず、テレビから流れる美空ひばりの美声も大桃美代子の奇声に変わる始末。ベートーベンの名曲も、この楽聖自身が晩年耳にした「灰色の音」の連続でしかない。「高退協読書会」に出席しても話合には参加できない状況が続き、会員仲間から苦情めいた要請を受けていた。結局、医大で再検査を受けることにした。

十二月六日早朝、病院に出掛ける。例によって長時間待たされ、診断が終了したのは十一時半すぎ。結論は、中度の老人性難聴との診断で以前と同じ診たて。最近の研究によればこの種の難聴は遺伝性



山本晶子

退職の後の安らぎ昼ひなか

温泉に入り「たたき」を食ふ

プラハに吹く風の中にわたしはるる

古城を仰ぎカレル橋渡り

よきもののみ歴史に残るをあまた見て
ボヘミアングラスの高きを買へり

平山都夫美術館にて時移るを
忘れぬし我を思ひ出づるも

被爆せし平山都夫と結ばれし
夫人の強き意志を思へり

のものとの説が有力になりつつあるので、血液検査をやるとのことで最後に採血をしてこの日は放免。

十二月二十四日、説明を受けに再び医大へ。ところが、レントゲン撮影が抜かっていたとのことで検査室へ廻され、なんと二回に分けて撮影。それも二回目には、あう向けに寝た頭の上を鼻音をたてて検査機が廻るといふものものしい検査で、よっぽどわるいのではないかと心配させられた。そのあとの説明では、たいしたことはない、まあ普通の難聴で補聴器を、ということで一安心。次回は補聴器の検査と調整。まる一日かかるようである。

年が明けた一月十三日、医大に出掛ける。まず午前中に二種類の検査あり。音階の異なる音を聞き取る検査と言葉を聞き分ける検査の二つである。午後再度出頭、問診のあと、専門店より出張してきた技術者に補聴器の調整を受ける。言葉の聞き取りを調べたところ補聴器を装着してもしなくても正確に聞き取れたのは六十五%という結果であった。次に、やや聞こえの良い右の耳に装着して同じ検査を行った結果は九十%であった。つまり、補聴器をつけるのは左ではなくて右の耳ということになった。これでしばらく様子を見て必要があれば再度調整をという指示で一件落着。

聞きかじった話では、難聴にもいろいろあって、補聴器でよく聞こえる人もあるが、なかなか調整が難しい耳もあるようである。なにしろ三十億もの遺伝情報で出来あがっている人間の身体、一筋縄ではいかなないのであろう。問診のときに耳に労がいく仕事に付いたことはないかと問われたが心当たりはない。（もともと口喧しい女性と永年つきあつてはいたが……）やはり前世からの宿縁としか言いようがない。今の寂寥感を駄洒落の一句に託す。

おみみは速く

なりにけり



俳句

1月6日(木)

「国分寺七種」

合田青幹

まほろばを貫く川も寒に入る
大椀の七種粥を吹き凹め

田所たねを

晴れて行く地蔵の渡し金鈴子
国府野の七種なればめでたけれ

吉本伸秋

若菜打ちはじめ野の香の匂ひ立つ
根の躍り葉の跳び返り薺打つ

中内みち代

裏門を出で次々と若菜野に
洗い上ぐ笹に若菜の瑞々し

小笠原さちを

山門を入り身のしまる寒の入
七種のまづ一番の芹を摘む



1月23日(日) 春野町

仁ノ浜どんど祭

合田青幹

忽ちにどんだの炎猛りたる
猛る火にどんだの山の崩れゆく

田所たねを

どんだの火猛れば雨も波音も
波音もどんだとどんだと囃しけり

吉本伸秋

竹爆する音に応えて吉書舞ふ
王義之も李白も舞ふや吉書揚げ

中内みち代

黒潮の沖煙らせてどんだ焚く
左義長の山崩れ落ち熾盛ん

小笠原さちを

十重二十重雨傘囲むどんだかな
餅焦がし顔も焦がせるどんだかな

「私の健康法」

竹島 寛之

高退協ニュース「一〇〇号」でアクアエクササイズと呼び掛けをしたことであつたが、その顛末を書けたこと。

私は腰痛に伴う右足のシビレと冠動脈不全の持病がある。筋力の劣化にとともに腰痛は年に2、3回起つていた。鮎つり仲間の整形外科医は、「痛い注射よりも静かに寝ているのが一番」とのこと。薬も注射もしたことがない。大抵、長くても一〇日位で治つていた。

昨年5月末、石鎚の東壁に登ったときも何時ものようにコルセットを着けていたが、6月にはいつて腰に異常を感じ左股関節が痛みだし二〇米も歩けなくなりました。6月一杯寝付いてしまった。今度は高価な漢方薬を飲んでみましたが一向に効果が表れなかつた。

このままでは体重は増えるし筋力は衰えるばかり。そこでプールを歩くことを始めたのは7月はじめであつたから、もう8ヶ月を過ぎたことになる。時間の経

「山の会」よりのご案内

[1] 会員登録のお願い

年次総会を次のように開催し、2000年度の会員登録(会費・1000円)を行います。

とき 3月18日(土) 2時

ところ 高知城ホール3階 県教組会議室
加入を希望される方で総会に参加できない方はご連絡下さい。

[2] ヨーロッパ旅行の募集

今年の海外旅行はヨーロッパアルプス秋の旅を計画しています。9月にスイス(ハイジの村)、イタリア(ドロミテ)、オーストリア(チロル)三国を13日間で廻る予定です。募集要項ができ次第、「山の会」の会員と参加希望のみなさんにお送りすることにしています。

[3] 機関誌「山行録」発行

「山の会」会員のみなさんには年次総会でお渡しする予定です。会員外の方で希望する方にもお届けしますのでお申込み下さい。

過もあつてか、9月中旬ごろには痛みもなくなつてきたので、10月中旬には工石山への試運転登山をしたが股関節の痛みもせず、普段どりの時間に下山できた。その後、何回か登山やハイキングに参加したが異常なかつた。而も、登山などのあとには筋肉痛やコリがあるものだが、それも感じなかつた。やはり水中での腹筋・背筋や足の筋肉の鍛練の賜物であろう。

いつもは県民体育館のプールに行つていますが、月曜日は休館だから市営プールにでかける。朝9時には入館する。5分位の準備体操、10分位は水中歩行、20分位はヒザを高くあげての「かけあし」で呼吸数・心拍数も相当に上がる。あとはコースに入つて平泳ぎ様のもの(足はドルフィンキックか又はまっすぐに伸ばしたまま)——腰に負担を掛けないために——で緩急をつけて泳いでいる。プールに入るのは1時間余りだが帰宅後の一杯のお茶は又格別のもの。

すくなくとも水中での運動中はボケてはいないので、やがて来るであろう「こうこつ」のときを少しでも先に延ばしていることは確かであるので、できるだけ続けようと思つて掛けている。

高退協第一回囲碁大会報告

去る一月二十三日(日)に催した囲碁大会は16名の参加者を得て、まずまずの成功をおさめました。参加者の内訳は最長老が石建松夫さんで88歳、高退協会員10人、現役1人、組合員外5人でした。みんな和気藹々と囲碁を楽しみ、交流を深めました。

結果はつぎの通りです。

- 優勝 池 洋三
- 2位 田村 和夫
- 3位 谷内 純一
- 4位 田辺 復暹
- 4位 五十嵐三千雄

なお参加者から8月に開催できないかというご意見がありましたので、検討しています。次回にはより多数の方の参加を期待しています。(文責 谷内)

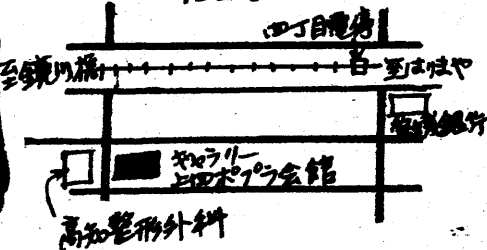


本高少函南本高少函南本

★34回 職美展

会期 3月14日(火)~19日(日)

会場 上四ボプラ会館
上町四丁目7-19 3F
TEL 822-1285



「鍼灸講座」開催

4月16日(日) 10:00~

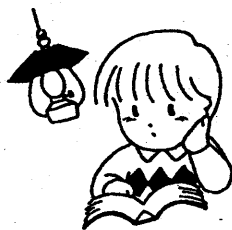
高知文教会館 3F (互助会の部屋)

本町4-1-49 TEL 822-5265

講師 中岡鉄夫

無料、多数ご参加ください。

高教組だより



一月二日に文部省は学校管理規則を改悪し、校長任用制度の緩和と民間からの登用、校長権限の強化、職員会の学校補助機関化に伴う形骸化などを次官通知しました。高教組は職員会の民主化、生徒、父母とともに学校づくりを進める運動を展開しつつ、改悪のねらいを許さないたたかいを進めています。

「日の丸」「君が代」法制化後は、三月一日の卒業式を迎えました。を中心、正門前でのビラ配りに高退協のみなさんにご協力いただきありがとうございます。県教委は文部省調査に基づき各校に



高退協活動日誌

【1月】

5日 高退協・山の会共催の「新年初歩き」が香美郡夜須町手結山で行われ35名が参加、懇親会は30名が参加して楽しく賑やかな会に。

7日 県労連「旗開き」が高知城ホールであり、岡崎会長が参加。

11日 日本共産党県委員会主催の「旗開き」が高知会館で催され岡崎会長他数名が出席。

13日 小松晋展先生に入院見舞い金。

18日 高退協第9回事務局会。

19日 石建松夫先生に米寿祝い金贈呈。

23日 高退協・高教組共催の第1回囲碁大会に16名参加。阿部勝好先生に入院見舞金。

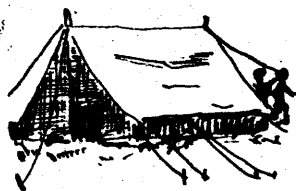
【2月】

2日 「2・11建国記念

「調査」を行っていますが、その項目に「問題になった事項(教職員の不参加、教職員、生徒の不起立等)」として、思想・良心の自由を「問題」としてとらえる「調査」であることが判明しました。高教組では、式での「日の丸」「君が代」の押し付けに反対し、式を生徒が主人公の創造的なものにしていく運動とともに、「調査」の撤回を求めています。

中等教育を複線化する中高一貫教育が二〇〇一年度よりいよいよスタートします。県内では嶺北、橋原などの高校と地元中学校の一貫が論議されています。今後、旧進学校拠点校などへの導入も予想されており、中学校の統廃合、学校間格差、序列化が危惧されています。

今年二〇世紀最後の年です。父母、県民、生徒とともに、将来を展望しながら一歩ずつ、確かな前進をしていきたいと思えます。(執行委員長 井垣政利)



の日に反対するつどい」実行委員会に岡崎会長が出席。

5日 木村信夫先生の葬儀に中川先生が高退協代表として参列。

10日 三橋俊男先生の葬儀に岡崎会長が参列。

11日 「2・11建国記念

の日に反対するつどい」が自由民権会館であり、山原先生と梅原憲作先生が基調報告、岡崎会長が閉会挨拶を行う。高退協会員15名が出席。

15日 高退協第10回事務局会。

17日 「四万十楽舎発足一周年記念祝賀会」に、岡崎、梅原、窪田(充)、山下正寿の各先生が出席。(高知城ホール)

19日 自由民権会館友の会が中心となって「自由は土佐の山間より」を県詞とする実行委員会が発足。窪田(充)、岡崎会長が参加。

20日 自衛隊誘致反対県民会議の結成大会が高知城ホールであり岡崎会長らが出席。

相撲三知識 三十七

林 勳

大相撲を支える人々(11)

呼出し

入門規定は、「義務教育を終了した満十九歳までの男子で適格と認められた者」となっている。身体検査はあるが、それ以外に格別のテストはない。

既に述べた力士や行司と同じように、呼出しにも階級がある。上位から、立呼出し(一名)、副立呼出し(一名)、三役呼出し(三名)

幕内呼出し(七名以内)、十枚目呼出し(八名以内)、幕下呼出し、三段目呼出し、序二段呼出し、序ノ口呼出し、となっている。右のよう

に幕下以下には具体的な定員の記録はないが総定員は四十五名以内となっている。今年一月現在では定員一杯になつてゐる。

採用されると登場所から土俵に上がる。特別の練習機関はないので、すべてのことを先輩から習う。

力士を呼び上げる番数は、立呼出しは一番、副立呼出しから十枚目呼出しまでは二番、幕下呼出し以下は呼出しの数と力士の数によって必ずしも一定していないが、行司が裁くのは、幕下格六番、三段目格七番、序二段格八、九番。序ノ口格十番くらいであるので、恐らく呼出しも同じくらいのこと

22日 日本共産党高校退職教職員後援会の総会に28名が出席。

26日 高知市民病院を現地に存続させるための直接請求を起す決起集会が人権啓発センターであり、高退協から10名が参加。

【3月】

1日 卒業式での「日の丸・君が代強制反対」のビラを保護者に配布。市内4校で。

寄り切り



四つ身に纏んで、相手を土俵の外へ寄り出す。決まり手の中で最も多く使われる手。

番数と思われる。

力士と行司は階級によって服装、装束に違いがはつきりしているが、呼出しにはその違いがない。みんな最初からたつつけ袴で足袋をはいている。行司は三役格になると草履をはくが、呼出しは一切、草履をはかない。

給料は採用されると支給される。勿論、階級によって額は異なるが、その額は公表されていない。

呼出しは、それぞれ相撲部屋に所属しているが、部屋は本人の希望で決める。従つて呼出しのいない部屋もある。

さて、肝心の仕事であるが、土俵上から白扇(文字通り無地の扇)で両力士を呼び上げることが本職であることは言うまでもないが、実は、これはほんの一部である。

簡単に列挙してみると、
①土俵をつくる(本場所、巡業、部屋の稽古土俵などすべての土俵)、②土俵の手入れ、清掃、③制限時間を力士に告げる、④力水や塩の補給、⑤控力士が土俵上の力士に力水をつけ、力紙を渡すが、その時、控力士に力水と力紙を渡す、⑥懸賞の垂れ幕を持つて土俵上を回り、懸賞を触れる、⑦十両、幕内、横綱の各土俵入りなど、進行の節目節目に柝を入れる、⑧幕内控力士の座布団取り替え(幕内力士は各力士の座布団なので取り替える。十両以下は協会の座布団で取り替えない)、⑨触れ太鼓や、構太鼓を打つ、⑩役員室や記者クラブの世話、⑪巡業では先乗りして土俵作りや天幕張り、終つた後の総ての片付け……等々である。恐らく一番広い分野を担当しているのではなからうか。定年は六十五歳である。(次は床山です)